

2026年7月1日(水)

驚異的な伸び 韓国の輸出そして株価

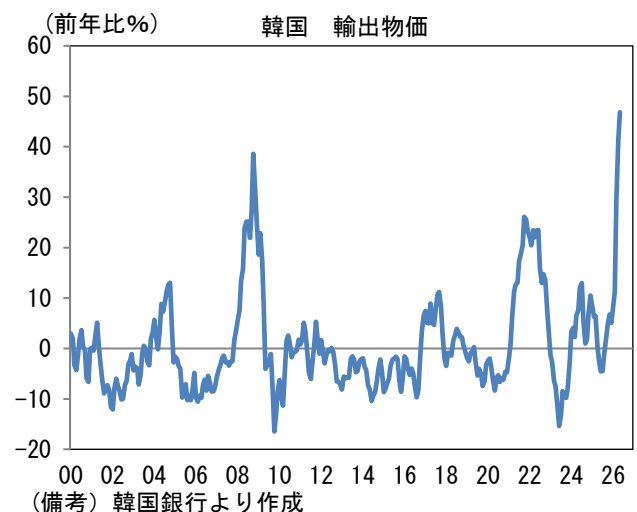
経済調査部主席エコノミスト 藤代宏一

(TEL: 050-5474-6123)

- ・日経平均株価は先行き12ヶ月72,000円程度で推移するだろう
- ・USD/JPYは先行き12ヶ月155円程度で推移するだろう
- ・日銀は政策金利を26年12月に1.25%とした後、28年央までに2.0%とするだろう。
- ・FEDはFF金利を、年内は3.75%で据え置くだろう。

・株式市場ではAI・半導体の需要動向がきわめて重要になっている。過去数ヶ月、グローバルな株式市場で注目を集めているのはメモリである。その生産集積地である韓国の経済指標が重要性を増している。

・本日発表された6月の貿易統計によるとドル建て輸出金額は前年比+70.9%と著しい増加を記録した。もちろん、増加をけん引したのは半導体であり、その伸び率は同+199.5%と凄まじかった。5月時点において輸出物価は全体が前年比+46.9%、半導体は同+181.3%と急速に切り上がっており、価格と数量の両面で活況が窺える。



- ・韓国株（KOSPI）を巡っては、個人投資家の熱狂により過熱感を帯びているとの指摘が多い。実際、レバレッジ型ETFの存在感が増すなか、ボラティリティが高まっている。もっとも、輸出金額と株価には過去から一定の連動性があり、それは現在も大きく崩れていない。この尺でみた株価は、輸出増加という裏付けを伴っており、バブルであるとの指摘は必ずしもあてはまらない。

